

「近藤賞」設立にあたって

日本 OR 学会近藤賞準備委員会

日本 OR 学会は、2007 年 6 月に創立 50 周年を迎える。第 2 次大戦後急発展したこの分野は、1950 年代から 60 年代にかけて、線形計画法、非線形計画法、整数計画法、ネットワーク・フロー理論、動的計画法、ゲーム理論、待ち行列理論、在庫管理理論、信頼性理論、シミュレーション理論などを矢継ぎ早に生み出した。

これらの理論は、様々な組織の意思決定問題に適用され、OR は極めて早い段階で、経営科学、システム工学の根幹をなすものという位置づけを獲得した。

しかし 70 年代に入ると、OR は様々な批判を受けることになった。モデルとアルゴリズムは用意されたものの、現実問題の解決に不可欠なデータ収集能力、計算能力、そしてソフトウェアが十分に整備されていなかったからである。

しかし 90 年代に入って状況は一変した。新たなシステム評価手法や、ヒューリスティック解法の大発展、モデリングやシミュレーション技術の新展開、それに歩調を合わせた計算能力の飛躍的向上、巨大なデータベースの整備、そして優れたソフトウェアの出現によって、OR は新たな発展段階を迎えている。

事実、20 年前には 1 年以上かけても解けなかった

超大型の経営問題が、いまではパソコン上でやすやすと解けるようになったのである。

このような事実を背景に、アメリカ産業競争力委員会が 2004 年に発表した「パルミサーノ・レポート」は、21 世紀を切り拓く「サービス科学」の担い手として、OR に大きな期待を寄せている。

数多くの優れた研究者を擁する本学会は、これらの期待に応えるべく様々な新しい活動を開始しているが、このたび 50 周年事業の一環として、OR の研究、普及または教育に傑出した業績を挙げた個人（またはグループ）を表彰し、我が国の OR の発展に資するとともに、広くこの分野の社会における認知度を高めることを目的として、「近藤賞」を創設することにした。

本学会の創立者の 1 人であり、本学会会長、日本学術会議会長を歴任し、2002 年に文化勲章を受章された近藤次郎博士が満 90 才を迎えられるのを機会に、この賞を設立することによって、OR 学会の活動を一層活性化すると共に、社会における OR の知名度を飛躍的に高めたいと考えている。

学会員諸氏をはじめ、諸賢の御協力と御理解をお願いする次第である。

第 1 回「近藤賞」候補者募集のお知らせ

上で御案内致しましたとおり、本学会では創立 50 周年を記念して 2007 年度から近藤賞を設置することになりました。そこで下記の要領で、第 1 回の受賞候補者を募集いたしますので、御応募下さいませようお願い致します。

推薦方法	日本 OR 学会会員による自薦または他薦
提出書類	推薦理由書、被推薦者の略歴及び主要業績一覧
推薦対象者	OR の研究、普及、または教育のいずれかの分野で傑出した業績を挙げた日本人、または日本を主たる活動の場とする人
推薦締め切り	2007 年 3 月 31 日 (OR 学会事務局宛)
表彰	50 周年記念式典会場 (2007 年 9 月)